

博報堂DYグループのサステナビリティ

博報堂DYグループでは、グループ各社にサステナビリティ担当役員を配置して取り組みの実効性を強化しています。今回、グループ各社のサステナビリティ担当役員が集まり、サステナビリティ経営に関するディスカッションを行いました。

人を中心としたサステナブルな経営で、
生活者の想いがあふれ、
いきいきと活躍できる社会の実現を目指す。

執行役員

ジェームス ブルース



クリエイティビティの力でサステナブルな未来を

世の中には気候変動や人権問題など、深刻な社会課題が山積みであり、これら課題を解決し社会に新たな変化を生み出すためには、これまで通りのやり方では太刀打ちできない時代となっています。

また、生活者があらゆるものの中心となる生活者主導社会が到来するとともに、生活者や企業のあらゆる行動においてサステナビリティが重要なファクターとなっています。つまり、生活者 (Sei-Katsu-sha) とサステナビリティ (Sustainability) の「2つのS」を意識することが重要な時代とも言えます。

このような環境の中、当社グループは長年培ってきた生活者を起点とした「クリエイティビティ」で、生活者、企業、社会をつなぎ、新たな関係価値をつくることで未来を創造する「プラットフォーム」でありたいと考えています。この「クリエイティビ

ティ・プラットフォーム」へと進化していくために、これまで以上に多様な人材が力を発揮できる環境整備や、人材の育成が重要な経営課題と認識しています。

自立と連携、共創によるサステナビリティ

2024年、グローバルパーパスと中期経営計画をもとに当社グループのサステナビリティ方針を策定し、気候変動や人権、DE&Iなどの9つの重要課題を特定しました。博報堂DYホールディングスのサステナビリティ推進室を中心にしながら、当社グループの各事業会社にもサステナビリティ担当役員を配置し、サステナビリティの取り組みの実効性を高めつつあります。各事業会社がそれぞれの強みや特長を活かした取り組みを自発的に行いながら、互いに連携し学び合うことで取り組みを加速できるのも、グループでサステナビリティを推進する

ことの重要性を物語っていると思います。

2024年は当社グループ横断で社内向けの「Diversity Day」を開催しました。各事業会社から多様な従業員が登壇し、発表された様々なストーリーを通じて、私たちグループのDE&Iについて考える機会となりました。また、ビジネスにおいてもスタートアップや民間企業、行政をつなぎ官民共創で地球や社会の課題を解決する「Planetary Platformers Initiative」や、「Earth hacks」「ノッカル」なども動き出しています。

多様な従業員一人ひとりのクリエイティビティを活かし、グループ事業会社の自発性とグループ間の共創のもと、人を中心としたサステナブルな経営で生活者の想いがあふれ、いきいきと活躍できる社会の実現を目指していきます。

「博報堂」のサステナビリティ取り組みについて

中核事業会社の博報堂では「生活者価値デザイン・カンパニー」を掲げ、生活や社会をポジティブに変える事業や商品、サービス、仕組みを構想、実装し、ビジネスとして成長させていくことを目指しています。そこにサステナビリティ視点を組み込み、企業や社会の課題を統合的に解決するクリエイティビティを発揮していくことが大事だと考えています。例えば、脱炭素社会実現には生活者の行動変容がカギと捉え、生活者にとっての新たな価値を提案できる体制整備を進めています。

また、博報堂には「粒ぞろい、より、粒ちがい」という人材の多様性を表す言葉があります。これまで培ってきた文化の延長線上にDE&Iが存在すると捉え、個と組織の幸せで豊かな成長を目指す取り組みを進めています。

博報堂DYグループのサステナビリティ



大広
取締役常務執行役員
福井 淳一郎

社会と会社、2つの「持続可能性」の両立を目指して

企業にとってサステナビリティ、すなわち「持続可能性」の示すところは、私たち企業人は社会（世界）と会社（自社）の2つを同時に持続的に発展させるべき存在だ、ということです。当社のパーパス「想いに火をつけ、ともに想像以上の未来を。」も、社会と会社双方の持続的な発展を前提としています。社外に向けては、当社独自の武器である「ダイレクトドリブン・マーケティング」を軸に、顧客と社会に愛され続けるブランドを、企業の志とともに作り続けています。社内では、働きがいにあふれた多様な人材が自律・自立して強みを発揮し活躍できる「ウェルビーイング経営」に力を入れています。世の中の人々の、そして自らの想いを引き出し、ともに未来をつくり続ける。この意志を原動力として、今後もサステナビリティ活動を推進していきます。



Hakuhodo DY ONE
取締役常務執行役員
貞岡 裕達

未来を創るHakuhodo DY ONEの成長戦略

Hakuhodo DY ONEでは、サステナビリティへの取り組みを、単なる社会的責任の履行ではなく「未来を創造していくための必然的な成長戦略」と位置付けています。統合直後の今、当社の中に存在する多様な価値観を強みとし、社員一人ひとりのウェルビーイングに向き合うことで、社員全員が主人公になれるような環境を生み出すことができると考えています。また、博報堂DYグループのデジタル領域を牽引する企業として、AIを中心とした技術の均質化が進む市場で差別化を図るため、デジタル技術の進化に深く向き合い、その力を発揮していきます。多様な人材とデジタル技術の融合こそが、当社独自の価値創造を生み出し、私たちとクライアント、そして社会の持続的成長につながると信じています。



読売広告社
取締役執行役員
長津 秀美

「GAME CHANGE PARTNER」として持続可能な社会の実現へ

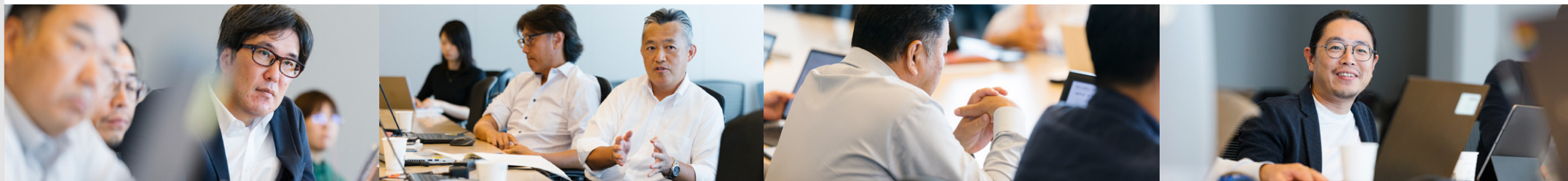
読売広告社は、「GAME CHANGE PARTNER-ビジネスと社会のサステナブルな成長のために、ともに変化へ挑戦するパートナー」をビジョンに掲げ、自社内におけるサステナブル活動の推進と事業活動を通じた社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指しています。環境貢献活動では、国内全拠点における再生可能エネルギーの導入と環境の国際規格ISO14001での認証取得が挙げられます。また男性育休100%取得の3年連続達成や、女性活躍推進の「えるぼし認定」の2つ星の認定取得など人的資本経営にも注力しています。さらに、地域への誇りや愛着を育む「CIVIC PRIDE®」の視点から地域資源を活かしたプロダクト開発やまちづくり支援を行うなど社会課題の解決に向けた取り組みを今後よりいっそう加速していきます。



ソウルダウト
グループ執行役員
宮武 宣之

「ローカル&AIファースト」で持続可能な地域の実現へ

ソウルダウトグループは2009年の創業以来、地方を含む全国の志ある中堅・中小企業の成長支援に取り組んできました。日本が直面する人口減少・高齢化・人手不足は、地域企業の存続や発展に深刻な影響を及ぼしています。こうした課題に対し、当社は中期経営計画のもと「ローカル&AIファースト」掲げ、生成AIを活用し、地域企業の生産性向上や持続可能な経営を支援しています。社員の成長をど真ん中に据え、全社的なAI活用基盤の構築や社員向けトレーニング、人事異動や育成施策の充実などを通じた人的資本の強化に特に注力して取り組んでいます。これからも地域とともに未来を描き、中堅・中小企業の挑戦を支え、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



博報堂DYグループのサステナビリティ



博報堂テクノロジーズ
執行役員
福世 誠

テクノロジーの力で「あるべき未来」を価値創造する

博報堂テクノロジーズは、博報堂DYグループのテクノロジー戦略会社として2022年に設立されました。AIをはじめとする技術が社会に大きな変革をもたらす中、私たちはテクノロジーが「あるべき未来」を創る力を持つと確信しています。組織づくりの根幹にはDE&Iを据え、多様な人材が能力を最大限に発揮できる環境を整えます。これにより生まれる創造性を力に、社会課題を解決する「攻め」のテクノロジー活用を強力に推進し、多様なステークホルダーの皆様と価値を共創していきます。「世界一級のマーケティング×テクノロジー会社」として、持続可能な未来の実装に貢献します。



kyu
Director
博報堂DY
ホールディングス
常務執行役員
平塚 泰俊

海外の先進的事例をグループ全体の原動力の1つに

博報堂DYホールディングスの戦略事業組織であるkyuは2014年の誕生以来、欧米を中心とする最先端かつユニークなクリエイティブサービス企業グループとなるべく、海外において先進的な業務をクライアントに提供してきました。とりわけ近年、世界的に喫緊の課題である気候変動などの環境問題に関しても、様々なステークホルダーと協業し、生活者やクライアント、そして社会に変革をもたらす提案業務に意欲的に取り組んでいます。サステナビリティを前進させることに海外で取り組むkyu各社と国内のグループ各社が連携することも年々増えてきています。持続可能な社会づくりに向けて、kyuは博報堂DYグループの原動力の1つとして、より一層貢献していきたいと思っています。



博報堂プロダクツ
取締役常務執行役員
狗飼 豊

本質を見失うことなく、本気かつ本音でコツコツと

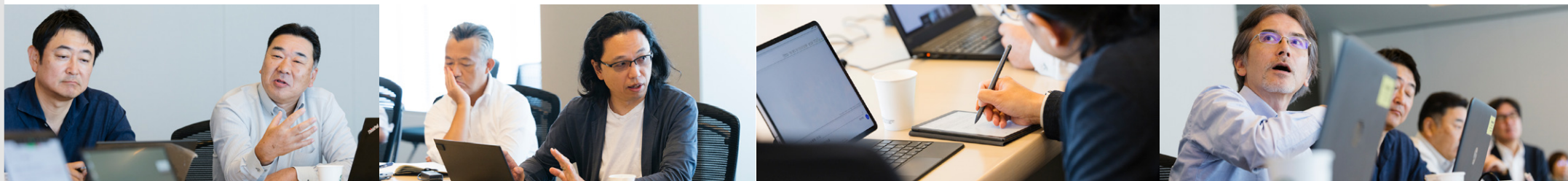
博報堂プロダクツは、創業以来培ってきた「専門性と実施力」を通じた社会への貢献を追求するため、本部横断の専門チーム「サステナブルエンジン」を中心に推進しています。広告プロモーション制作プロセスにおける脱炭素化や人権への配慮に加え、生活者のサステナブルな行動変容を促すアイデアの社会実装に取り組んでいます。「世の中で求められているから」「数字を開示しなくてはいけないから」ではなく、「何故“今”サステナビリティ経営に本気で取り組まなくてはならないのか?」「未来を生きる子どもたちや未来の博報堂プロダクツ社員のために、今を生きる我々が、痛みを伴ったとしてもやらなくてはならないことは何なのか?」。本質を見失うことなく、本気かつ本音でコツコツと実践していきます。



博報堂DYコーポレート
イニシアティブ
取締役
菅井 陽司

グループ横断の力で、持続的な市場価値向上へ

私たち博報堂DYコーポレートイニシアティブは、ミッションとして「コーポレートの力でグループの市場価値向上に貢献する」ことを掲げています。その実現のため、グループ横断のコーポレート機能として、サステナビリティ方針に定められた「2030年に向けた重要課題（マテリアリティ）」への対応を推進します。また、すべての企業活動の基盤となるグループ全体のインテグリティ強化を担い、持続的な企業価値・社会価値の創造を力強く支えます。急速に変化する社会環境の中、こうした活動を通じて、博報堂DYグループが目指す「生活者の想いがあふれ、いきいきと活躍できる社会の実現」に貢献していきます。



博報堂DYグループのサステナビリティ

博報堂DYグループは、「人を中心としたサステナブルな経営」を推進するため、2024年、サステナビリティ方針を制定し、重要課題（マテリアリティ）を特定しました。自立と連携の考えのもとグループ各社の事業特性や強みを活かし、当社グループらしいサステナビリティを推進していきます。

サステナビリティ方針

生活者、企業、社会。

PURPOSE

それぞれの内なる想いを解き放ち、時代をひらく力にする。

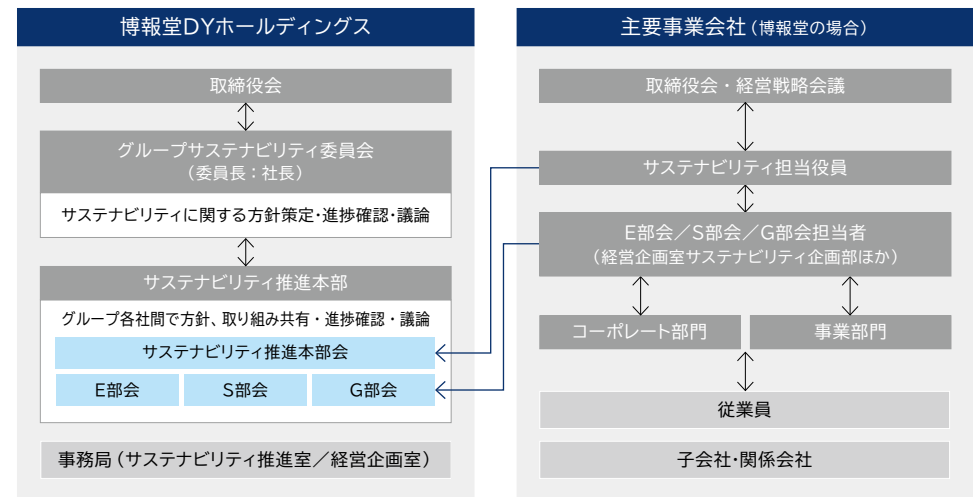
Aspirations Unleashed

人を中心としたサステナブルな経営	E 環境 持続可能な地球環境への貢献	地球環境との共生に向け企業としての取り組みを果たすとともに、生活者発想と生活者、企業、社会をつなぐ力を活かし、サステナブルな行動変容を実現する。
	S 社会 多様な個の成長と尊重によるクリエイティビティの発揮	社員一人ひとりの想いを解放し、専門性や先進性を向上させる生活者発想と共創力によりクリエイティビティを発揮し、生活者、企業、社会の課題を解決する。
	G ガバナンス コンプライアンスとインテグリティの追求	社員一人ひとりが信頼に応える責任と向き合い、自らが持つクリエイティビティを正しく発揮することで、社会へのポジティブなインパクトを生み出す。

P.16 ▶ 重要課題（マテリアリティ）

サステナビリティ推進体制

取締役会を意思決定機関としてその下にグループサステナビリティ委員会を設置し、サステナビリティに関するテーマを討論しています。グループサステナビリティ委員会にはグループ各社社長が参加し、トップコミットメントをいっそう強化しています。博報堂では専任組織を置くとともに、特に重点のサステナビリティ課題について、既存の委員会や部門との連携やタスクフォースの設置を通じて、推進体制を強化しています。



2025年3月期の議題

第1回グループサステナビリティ委員会	第2回グループサステナビリティ委員会
- グループサステナビリティ推進について - グループサステナビリティ方針のアップデート - 人権デュー・ディリジェンス進捗報告	- グループ社会貢献活動の進捗報告 - DE&I推進の進捗報告 - 環境／ガバナンス進捗報告